株式市場新聞
www.marketpress.jp
2021
1/25
月曜日
発行元　株式会社 株式市場新聞社
〒530-0005
大阪市北区中之島４－２－２８甲南アセット中之島ビル
TEL 06-6105-1904

日経平均株価
２万８６３１円４５銭
▼１２５円４１銭（前日比）
ＴＯＰＩＸ
１８５６．６４
▼４．００（前日比）

上方修正期待銘柄を探る

第3四半期決算発表が本格へ

業績と株価の位置で選別

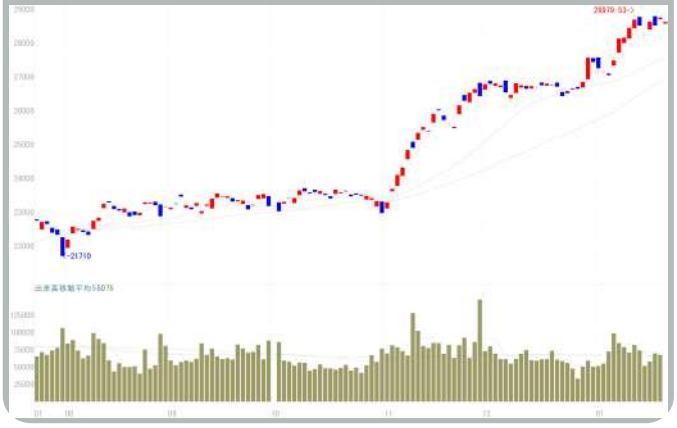
１月下旬からいよいよ３月期企業の第３四半期発表が本格化する。製造業や外食を含めて多くの企業で新型コロナウイルスの感染拡大を受けて業績悪化を余儀なくされたが、マーケットはこれら悪材料を織り込み、下期から来期へ向けての業績回復を期待する動きになっている。これに加えてコロナ下の巣篭りの恩恵を受けている企業は第３四半期発表で通期予想の上方修正の可能性も高く、業績面と株価の位置で、銘柄選別を進める局面に来たといえそうだ。

第３四半期発表が本格化する

第３四半期決算については２月期企業で先行指標的存在である**安川電機**（６５０６）が１２日に中国のニューインフラ関連需要や半導体・電子部品市場の好調を受けて１年２月期通期の連結業績予想を上方修正しており、３月期企業についても半導体などを含めて好決算への期待が高まっている。そのような中で主要企業で先陣を切って発表するのが２５日の**日本電産**（６５９４）。既に第２四半期時点で通期予想を上方修正しているが、今回の決算では、ＥＶトラクションモータや５Ｇ関連で具体的な今後の需要動向が示さるかに注目。５Ｇの絡みでは２６日の**タツタ電線**（５８０９）や２７日の**信越化学**（４０６３）、２８日の**東京エレクトロン**（８０３５）も注目される。

コロナ下の巣篭りで恩恵を受けているのがゲームセクターで、第３四半期ではクリスマス商戦でソフト販売が伸びた企業は上方修正に進む可能性が高い。利益率の高いダウンロード販売が伸びている**カプコン**（９６９７）は２８日、**スクウェア・エニックス・ホールディングス**（９６８４）は２月３日、ハードメーカーでは２月１日の**任天堂**（７９７４）あたりに好決算が期待される。２月１０日の**トヨタ自動車**（３１１６）は、今後の環境対応車の動向が注目されよう。

日経平均日足チャート

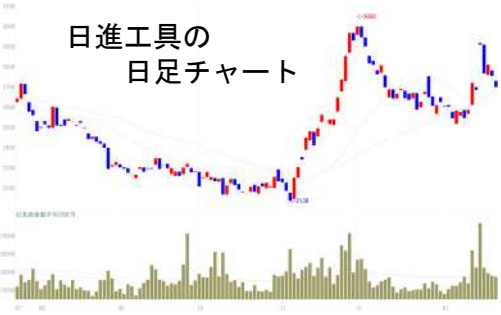


前週の動意銘柄

日進工具は大幅高

21年3月期予想を上方修正

週明け18日、**日進工具**（6157）が大幅高。21年3月期の業績予想について、連結売上高で74億1000万円から79億3000万円（前期比16・8％減）、営業利益で8億5000万円から14億6000万円（同34・2減）へ上方修正した。5G対応スマホ新機種の販売好調や自動車生産の回復、流通在庫調整一服などから第3四半期の業績が予想を上回っている。



マルカ連続大幅減益

マルカ（7594）が急落。20年11月期の連結決算は営業利益14億5900万円（前の期比46・0％減）で着地、21年11月期も11億円（前期比24・6％減）と大幅減益を予想した。新型コロナ感染の影響による設備投資需要の減少で主力の産業機械を中心に不振が続く。

日本電産は逆行高

日本電産（6594）が逆行高。関社長へのインタビュー記事が内容が材料視された。EVの市場構造についてモーターは低価格で大量生産が可能な専業メーカーへの外注が進むとの認識を示しているようだ。

三井E&S値上りトップ

19日、**三井E&Sホールディングス**（7003）が急反発、東証1部上昇率トップに立った。千葉工場で建造していたシンガポールのオーシャン・ジェイド社向け8万7000重量トン型ばら積み貨物運搬船「オーシャンジェイド」が完成、引き渡したと発表したことで収益貢献を期待した買いを集めた。環境対応・低燃費船ラインナップ「neoシリーズ」の第7弾でバルクキャリアー「neo87BC」の第2番船となる。

タカショー権利落ち

タカショー（7590）が急落。この日が21年1月末権利落ち日で、16円配当と500株以上を保有する株主にインターネットサイトのポイントを付与しており、処分売りが優勢になった。

ファストリはスマホ決済

ファーストリテイリング（9983）が急反発。「傘下のユニクロはスマートフォンを使った決済サービスに参入する」と伝わった。3000万人強の会員を持つ同社のアプリに支払い機能を追加。これまで店頭での電子決済には他社のサービスが必要だった。自社のアプリ経由で購買履歴を集めやすくし、商品企画や生産、販売などの効率化に生かす方針で、収益貢献を期待された。

ヤギは医療用ガウン

20日、**ヤギ**（7460）がストップ高。50回の洗濯をしてもAMIleve12を維持できる医療用ガウン（EITORE for Medical Reusable Gown）を開発したと発表したことが材料視された。生機、染め、加工の全てを国内で生産した素材を採用、医療現場でのサステイナビリティに貢献する。

正直じいさんの株で大判小判

出直る好業績株を狙う

終末22日の東京市場は直近上昇による高値警戒感から利益確定売りが優勢でしたが、底堅さが意識されました。日経平均は朝方に230円近くに下落したあとは下げ渋り、大引けは125円安と5日線上にとどまっています。週末要因に加えが始ることディアが新輪を中止せことも重しでは買いが高のマザー伸しており、週きとなっていま

推奨銘柄につ伸び悩む銘柄が**アニメ**（481して、決算発表を前整理売りを進めました。週明けからは決算発表日程をにらみながら、出直ってくる好業績株を狙っていきたいと思います。**花咲 翁**

来週から3Q決算発表で動きづらく、海外メ型コロナのため東京五ざるを得ないと報じたになりましたが、下値入りました。前日大幅ズ指数は小幅ながら続明けに期待をつなぐ動す。

いては底堅いものの、多く、新値追いの**東映**6）など強い銘柄を残

日総工産は急伸

稼働上昇で今3月期上方修正

日総工産（6569）が急伸。21年3月期の業績予想について、連結売上高で670億円から680億円（前期比9・3％減）へ、営業利益で18億円から24億円（同21・6％減）へ上方修正、期末一括配当を11円53銭から15円（前期25円）へ引き上げた。中核事業の製造系人材サービスは顧客メーカーの生産活動再開で、スタッフの稼働が上昇、一人当たり売上高が改善している。

住化は半導体関連

住友化学（4005）が急伸。半導体用フォトレジストや洗浄液、GaN（窒化ガリウム）エピタキシャルウエハーなど化合物半導体事業を育成することから、同関連の出遅れ銘柄として市場の関心を集めた。貸借倍率0・98倍で満額の逆日歩がついており、買い戻しが株価を押し上げた。

半導体当面の出尽し感

21日、東京エレクトロン（8035）やレーザーテック（6920）、アドバンテス（6857）、SCREENホールディングス（7735）など半導体関連が安い。導体露光装置世界トップの蘭ASMLが前日に発表した10～12月期決算は予想を上回り、1～3月期見通しも想定を上回ったが、米SOX指数は小幅ながら下落。半導体はスーパーサイクル入りが期待され株価が大きく上昇していたことから、当面の出尽し感から利益確定売りが優勢になった。

パナソニクワクチン容器

パナソニック（6752）が4連騰で昨年来高値を更新した。この日の日本経済新聞が「パナソニックは新型コロナウイルスのワクチン輸送・保管向けの保冷容器を開発した。」と報じたことが材料視された。ドライアイスを使ってセ氏マイナス70度以下を18日間保持でき、低温管理が必要な米ファイザー製のワクチンにも対応する、としている。

2021年 春 新商品

株式会社 大森屋

在宅ワークのランチを愉しむ“パスタの新ジャンル”

パスタのためのスパイスふりかけ

ふりかけるだけで本格パスタメニューが完成！

彩り野菜のハーブソルト&ペッパー

おすすめポイント

和風ゴマ醤油&赤とうがらし

●辛みに爽やかなハーブが香るスパイス。
ガーリック、ブラックペッパー、バジル、イタリアンパセリ、赤とうがらし、カルダモン、レモン、岩塩

●彩り豊かな野菜具材をたっぷりとミックス。
味付青菜、赤野菜(トマト)フレーク、黄野菜(かぼちゃ)フレーク、緑野菜(アスパラガス)フレーク

サラダにも　お魚のソテーにも

“こだわりレストランの味”を愉しむ本格スパイス配合。

おうち具材と共に味わいを広げる多彩な具材入り。

1袋3～4人前で、アレンジも幅広い経済性。

●醤油とかつおの旨みに、辛みをきかせたスパイス。
ガーリック、赤とうがらし、ブラックペッパー、イタリアンパセリ、バジル、コリアンダー、岩塩

●和風の香ばしさと玉ねぎのコクをミックス。
味付削り節、醤油ごま、フライドオニオン、ベーコン風味チップ、黄野菜(かぼちゃ)フレーク

チャーハンにも　お肉のソテーにも

シズル感豊かな写真で商品特性をわかりやすく演出したパッケージデザイン

株式会社 大森屋　http://www.ohmoriya.com/

DmMix9連騰で最高値

独自のビジネスモデルに関心

２１日、**ダイレクトマーケティングミックス**（７３５４）が９連騰、上場来高値を更新した。昨年１０月５日に東証１部へ直接上場、テレマーケティングを中心に独自の手法で企業の営業を支援しており、コロナ下で対面営業が制限されるなかで、付加価値の高い営業を行うことで顧客（企業）のトップラインを向上させるビジネスモデルが注目を集めた。東証が２２年４月を目途に市場区分の見直すが、１月１１月号のトップインタビューで**小林祐樹社長**は「プライム市場を目指す」としており、中長期的な攻めの経営も引き続き期待される。

東京製綱はＴＯＢ

週末２２日、**東京製綱**（５９８１）がストップ高。日本製鉄（５４０１）が同社株に対して公開買い付けを実施すると発表したことを受け、ＴＯＢ価格１５００円にサヤ寄せした。買い付け期間は１月２２日から３月８日で、買付予定数は１６２万５５００株。持ち株比率を１９．９１％に引き上げることが目的で、ＴＯＢ成立後も上場は維持する。東京製綱に事前の通知はなく、敵対的ＴＯＢに発展の可能性がある。

転ばぬ先のテクニカル

ビットコインの動きに注意

先週の東京株式市場は日経平均が小幅に続伸しました。米大統領就任式を無事通過し、新政権がスタート。米国市場はご祝儀相場よろしく最高値を更新しましたが、東京市場は１月第２週の上下幅の中での膠着となりました。引き続き強いトレンドを保っていますが、上値追いの勢いが止まりつつあるようです。

今週は２５日の日本電産を皮切りに、主要企業の２０２０年１０～１２月期決算発表が本格化します。また、２６日～２７日にかけて米連邦公開市場委員会（ＦＯＭＣ）もあり、様子見ムードが強まりそうです。１月の変化日とした１５日の前日に高値をつけ、その後は日柄調整となっています。

株価の先行指標として相関性の高いビットコインが急落しだしました。若干のタイムラグがありますが、急落が続くようですと株式市場も値幅調整となるかもしれませんので注意が必要です。

日々勇太朗

企業レター

奈良市と買い物支援協定

近商ストア

移動スーパー「とくし丸」通じて

とくし丸

近鉄グループホールディングス（９０４１）傘下の**近商ストア**はとくし丸（本社＝徳島県徳島市）と奈良市で住民の買い物支援に関する協定を結んだ。

今回の取り組みは奈良市の買い物支援事業の一環で、買い物が困難になっている住民の生活機能を維持するため、移動スーパー「とくし丸」を通じて住民の買い物を支援することが目的。協定により、ハーベスあやめ池店周辺（奈良市北西部）の住民宅を個別に訪問している移動スーパー「とくし丸」近商ストア４号車が、地域コミュニティの中心である公民館などの公共施設敷地を使っての販売も可能になる。

現物を「見て・触って・感じて・選んで」いただくことができる「とくし丸」を通じて、より多くの方に「お買い物」の楽しみを感じていただければとしている。

資生堂日用品事業売却

資生堂（４９１１）が続騰。ドラッグストアやスーパーなど量販店向け低価格帯のケアやスキンケア、ボディーケア製品など日用品事業を、欧州系投資ファンドのＣＶＣタルに売却すると伝わったことがポジティブ視された。売却価格は１５００～２０００億円の見込み。低収益事業を整理して経営資源の選択と集中を進める。

前週の動意銘柄

マネクスはビットコイン急落

マネックスグループ（８６９８）が急反落。ビットコインが１日で１３％下落し、２０年３月以来の最大の下落幅を記録したことをうけて、子会社で仮想通貨取引所コインチェックを運営する同社に悲観売りがでた。

月末整理売り場面待つ

高野恭壽の株式情報 これでどゃ!!

株式市場新聞の名物コーナーが復活！

テレワーク関連を改めて拾う

米国株式は暴動懸念が薄れて大きく反発したことを受けて、２１日の日経平均も好感して２万８８００円台まで買われました。しかし、月末の調整売りが上値を抑える動きがみられるようになり、２万８８００円台を維持することができずに終えました。すでに、先駆した半導体系などは堅調を維持していましたが、利益確定売りなどで上値を抑えられることを警戒して今後、動きが鈍くなると考えられます。月末に向かうことで２万９０００円乗せを前に日経平均は低迷すると予想されます。

しかし、今週から３月決算の第３四半期決算の発表が始まります。中間決算発表時よりも業績の回復がみられる企業が多くなっていますので、それを好感した買いが２月はじめから始まるものとみられます。月末整理売りで今週の日経平均は２万８０００円割れの可能性が高く、その場面を待って新規買いを入れる作戦でいいと考えており、テレワーク関連を改めて拾いたいと思っています。すでに推奨のＮＥＣ（６７０１）を中心に注目すべきでしょう。

野村ホールディングス（８６０４）は相変わらず睡眠から覚めない状態ですが、５６０円台まで調整したことでほぼ底に近づいたとみています。米ゴールドマンサックスが２倍の利益をだしたと報じられており、野村ＨＤの第３四半期も大幅な利益を出した可能性が強まりました。引き続き売られた局面は自信をもって拾うべきでしょう。

小物の銘柄も見直されるとみており、**ＨＥＲＯＺ**（４３８２）なども注目。また、**冶金工**（５４８０）も出番が近いでしょう。

高野恭壽（たかのやすひさ）**氏**　株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家へ。講演会のほかラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめＴＶ、ラジオに出演。「株式投資30カ条」など著書も。
公式ホームページ
https://marketpress.jp/kabu-takano/

購読会員募集中！

株式市場新聞では、購読会員を募集しています。

値幅取り候補銘柄！！

【正直じいさんの株で大判小判】でお馴染みの花咲　翁氏が
独自の分析で値幅取り候補銘柄を紹介します。

https://marketpress.jp/kabu-takano/

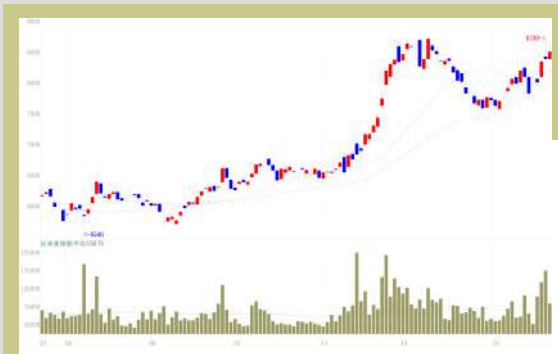
株式市場新聞 公式メールマガジン

優良銘柄に加えて新興銘柄のタイムリーな限定情報が満載！

https://www.mag2.com/m/0001678061.html

株式市場新聞
www.marketpress.jp

今週の活躍期待銘柄



平田機工（6258）

今3月期再上方修正に期待

平田機工（6258）は1月18日に7660円まで売られた後に切り返しの動き。21日には12月9日の昨年来高値8730円まで上昇しており、戻り売りをこなして高値抜けに期待したい。

自動車や半導体、家電関連など幅広いユーザーを有しており、産業用ロボットも手掛けている。21年3月期の第3四半期決算は2月9日に発表予定だが、有機EL関連やウェーハ搬送装置など半導体関連生産設備事業が前年同期を上回るペースとなっていることから通期連結営業利益で会社側計画の25億円（前期比8・7％減）予想は再度の上方修正期待が高まる。自動車向けでは世界的にEVシフトが加速するなかで関連受注が来期以降加速化することになろう。ソニア・セラピューティクスとがん治療機器を共同開発することも注目。（と）

EVシフトで受注は拡大加速

田中化学研究所（4080）

電池材料で成長期待高まる

田中化学研究所（4080）は12月に付けた昨年来高値1520円から25日線レベルまで押し目を入れて切り返し、本格反騰に向ってきた。リチウムイオン電池やニッケル水素電池など高性能二次電池向け正極材料が主力で、世界的な電動自動車化の流れのなか、大幅な増産体制を整備しており、今後の利益成長へ期待が高まっている。

足もとの21年3月期についても、先行投資負担と新型コロナ感染拡大の影響を厳しく見積もり、連結売上高230億円（前期比14・6％増）、営業損益5億円の赤字（前期13億650万円の赤字）を見込むが、前駆体製造技術支援に関するライセンス収入があったことから第2四半期は1億8100万円の黒字（前年同期3億9100万円の赤字）で着地しており、上振れが期待できる状況だ。（さ）

電動自動車化へ増産体制整う

※チャートは日足

潮流

バイデン相場始まる!!

経済成長は財政支出規模で決まる

marKet bAnk

１月２０日、第４６代の米大統領にジョー・バイデン氏が就任した。バイデン新大統領は「米国を再び団結させる」と強調した。予想通り、トランプ氏は就任式を欠席した。極端な政策で世界経済を振り回したトランプ氏がホワイトハウスを去り、企業は腰を据えて成長戦略を描ける環境ができた。バイデン大統領の誕生を株式市場は歓迎した。

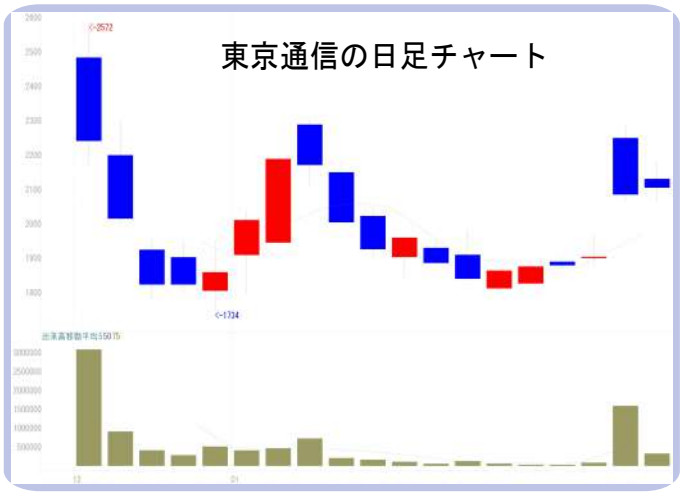
ダウ平均は３万１１８８ドルと史上最高値を更新した。Ｓ＆Ｐ５００種とナスダック総合株価指数もそろって過去最高値をつけた。米トランプ前政権の４年間でダウ平均は５７％上昇した。Ｓ＆Ｐ５００種は６８％上昇した。クリントン政権（７８％）、オバマ政権（７５％）に次ぐ高さだ。バイデン次期大統領が財務長官に指名した前ＦＲＢ議長のイエレン氏はコロナ禍に苦しむ中間層を支える大規模な財政出動の必要性を訴えた。

中国について「米国の最大の戦略的な競争相手」と明確に位置づけ、その「脅威」に強い姿勢で対処すると述べた。イエレン氏は米議会に「いま行動しなければ、さらに苦痛に満ち、傷痕が長く残る不況が続く」と指摘。バイデン氏が議会に求めた追加の経済対策をとるよう促した。

バイデン大統領は既に新型コロナウイルスの感染拡大に対応する１．９兆ドル（約２００兆円）規模の新たな追加経済対策案を公表しており、イエレン財務長官同様、大規模な財政出動を果敢に進めて経済を支える「積極財政」の必要性を共有している。米国の株式市場が史上最高値を更新する一番の要因がここにある。

日本は２００１年当時、小泉政権時代に竹中平蔵経済財政担当大臣が国の収入と支出を均衡に保つといったプライマリーバランスの黒字化を提唱した。つまり、国の赤字を減らすために財政支出を抑える「緊縮財政」を進めたのである。この結果、日本経済はデフレが進み、衰退の一途を辿ったのだ。それからの２０年間、経済成長率はゼロ、給料の伸びもゼロ、日本の将来性も希望も無くなった。日本が失ったものはあまりにも大きい。経済成長は財政支出の規模で決まるのだ。政府は企業ではない。経済成長を持続させるために国の財政出動こそが必要なのである。菅総理はプライマリーバランス黒字化目標を破棄すべきだ。

潮流銘柄は**東京通信**（７３５９）、**プレイド**（４１６５）、**ズーム**（６６９４）。



岡山 憲史氏（株式会社マーケットバンク 代表取締役）のプロフィール

１９９９年２月日本初の資産運用コンテスト「第一回Ｓ１グランプリ」にて約１万人の参加者の中から優勝。直近では２０１７年１月に始まった夕刊フジ主催の「株・１グランプリ」において優勝。１カ月間における３銘柄の合計パフォーマンスでは１５５％と断トツの結果。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。http://marketbank.jp

黒字化目標は破棄すべき

ここから買う理由探し

今週も「噴き値売り」に徹する

敏腕先物ディーラー

ハチロクの裏話

ハチロクのプロフィール
証券アナリストから証券会社の法人部長を経て、２２５先物オプションディーラーに転身。アナリスト時代に培ったテクニカルやファンダメンタルズなどの分析力を駆使、リーマンショックなどの暴落時も乗り越えて西日本における２２５先物オプションディーラーとしてはトップクラスの運用実績を誇る。

先週の日経平均は前週比末約１１２円高と４週連続陽線となった。急騰後の調整局面ではあるが、５日移動平均線（２万８５５７円処）を割り込んでもすぐに切り返す辺りは下値の堅さを物語る。

要は２万４０００円台回復からの上昇が速すぎて、株を買えていない投資家が多いということだ。ＰＥＲやＰＢＲなど一般的に使われる投資尺度では説明が付きにくい状況で敢えて「買う理由」を探し、株式の保有比率をあげているようだ。

例えば現在東証１部銘柄で２００日移動平均線を上回っているのは全体の６８％だそうだ。過去アベノミクス開始直後の１３年やトランプ大統領就任の１７年には１００％に近い状況だった。

ハイテク株の業績好調は織り込んだ？

１７年の時は企業業績の回復が明確であった。今回はまだまだ回復期待だけが先行している気がする。

その意味でも今週から始まる第３四半期の決算発表には注目したい。ハイテク関連の業績好調が相場にどの程度織り込まれているか確認したい。手口的には先週からゴールドマンサックスがＮＴショートのポジションを積み上げているようだ。海外投資家はハイテク株の業績好調は織り込んだと見ているようだ。

チャート的には先週は下値を切り上げ上昇相場を維持している。５日線を割り込んでもすぐに回復するパターンは健在である。

下値メドは５日線（２万８５５７円処）一目均衡表の転換線（２万８４３９円処）、窓埋めの２万８３４９円、先週安値の２万８１００円処が上げられよう。一方、上値は先週高値の２万８８００円処、節目の２万９０００円となろう。今年に入り転換線を下値に意識した展開が続いているので、同線を大きく割って引けたときには調整が長引くと思われる。

今週は２万８１００円から２万８９００円を想定。今週も「噴き値売り」に徹したい。

（ハチロク）

が出遅れている銘柄に矛先が向かうかとなれば疑問である。１３年や

日経225先物日足チャート

星野三太郎の株街往来

～トランプの幕引きの～

4年間におよぶトランプ政権が終焉した。マスクを着けずに行動するなど感染対策への意識も低く、最後は支持者による連邦議会襲撃事件により、SNSのアカウントが停止されてしまった。トランプ氏は4年後の大統領選で再出馬を狙っているようだが、幕引きの悪さ故に再出馬は実現しても2期目を務めることは実現しないと思っている。

色々と無鉄砲な行動は批判が多かったが、軍や政府の役職に就いたことの無い初の大統領だったことからどちらからといえば経営者感覚で行動していたことは評価できる面もあった。特にマーケット関係者にとっては、株価が下落するとFRBに金融緩和を強要する発言を行ったり、株価を強く意識した大統領だったことは印象に残っているのでないか。

SNSの書き込みを読み取って自動売買を行うテキストマイニングが知れ渡ったのもトランプ大統領になってからだ。たぶん日本の首相がSNSで同じような書き込みをしたら、批判集中で即退任になっていただろう。それだけ米国は寛容で自由な国とも言える。最後の後味は悪かったが思い出に残る大統領だった。

企業レター

焼肉きんぐで開催中

物語コーポレーション

「チョコレートフォンデュフェア」

チョコレートフォンデュフェア

物語コーポレーション（3097）が全国で252店舗を展開する「焼肉きんぐ」は2月14日までの期間限定で、「チョコレートフォンデュフェア」を開催している。

今回開催する「チョコレートフォンデュフェア」は、「焼肉きんぐ」史上初となる大学生とのコラボレーション企画。スイーツ好きの女子大学生4人と「焼肉きんぐ」開発スタッフがタッグを組んで、斬新ながらも「焼肉きんぐファン」が楽しめる冬のスイーツを考案。ロースターで温めたホットチョコレートを、好みの食材にまとわせれば、オリジナルスイーツが完成。フルーツやフライドポテトやベーコンもチョコレートと好相性。

クボタ

農フェス！2021新春

バーチャル展示会オープン

クボタバーチャル展示会
農フェス！2021新春

クボタ（6326）は、オンラインでの農業機械の展示会として、「クボタバーチャル展示会 農フェス！2021新春」（農フェス、https://agriculture.kubota.co.jp/virtual-exhibition-2021）のサイトをオープンした。

新型コロナウイルスの影響により、例年通りの展示会開催が制限されることから、オンラインで参加できるバーチャル展示会として農フェスを企画。今回の農フェスでは、自動運転農機やドローン、顧客のニーズにあわせたスペシャルモデルなどの多くの新商品情報を紹介するとともに、ユーザーの活用事例や開発者のインタビュー、クボタ農機オリジナルグッズが買えるオンラインショップなどさまざまなコンテンツを用意し、日本の農業に関わる多くの人が交流できる場を目指している。

記者の視点

相場見通し

主要企業の決算待ち

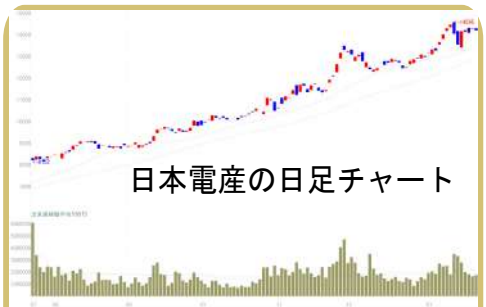
27日パウエル会見にも注目

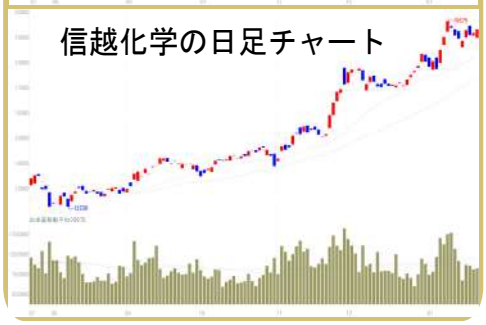
先週の東京市場は18日に日経平均で2万8111円54銭まで調整する場面があったものの、トランプ支持派の暴動が懸念されていた20日のバイデン大統領就任式が無事通過したことを受けて21日には2万8800円台まで戻す動きとなり、週末は利益確定売り優勢の動きとなった。

イベント的には26日に米FOMCで翌日の27日にはパウエル議長の会見が予定され、28日の米10～12月GDPも控える。決算では26日にアメックス、マイクロソフト、テキサス・インスツルメンツ、27日にはアップルやADP、ボーイングと主要企業の決算発表が続々と控えることから、これら企業の決算内容で指数の動きが振られる可能性もある。

今週からは国内でも3月期企業の第3四半期決算発表がスタートするが、すでに始まった米国企業の決算では21日の通常取引終了後に発表したIBMの2020年10～12月期決算が売上高で4半期連続の減少となり、市場予想以上に落ち込んでいる。注力するクラウド関連事業も伸び悩んでいることから、日本の主要企業に関しても一旦は警戒感から利益確定売りの動きとなっているようだ。

ただし、日本の主要企業では巣篭りで恩恵を受けている企業や想定以上に回復している自動車関連を含めてすでに上方修正の発表が始まっている。例えば採算性の高い既存タイトルのダウンロード販売が拡大した**カプコン**（9697）は増配も同時に発表しており、好決算企業が来期以降も明るい見通しを示せれば、買い直される可能性は高いと見る。まずは25日発表予定の**日本電産**（6594）や27日の**信越化学工業**（4063）の決算に注目したい。





今週のスケジュール

- 25日　12月首都圏新規マンション発売(13:00)
  独1月Ifo景況感指数(18:00)
- 26日　12月企業向けサービス価格指数(8:50)
  米FOMC(～27日)
- 27日　パウエルFRB議長会見
- 28日　12月商業動態統計(8:50)
  米10-12月期GDP(22:30)
- 29日　1月20-21日開催の日銀金融政策決定会合「主な意見」
  12月失業率・有効求人倍率(8:30)
  12月鉱工業生産(8:50)
  1月消費者動向調査(14:00)

編集後記

プリンターが故障したので、買い替えのため量販店に行くと6000円余りで複合機が売っていた。解像度はやや低いが資料や年賀状のカラー印刷程度なら何ら支障がないと店員が言うので購入したところ、見た目はちゃちだがWi-Fi接続も付いていて、印刷の品質も上位機種との差は感じない。機械の価格を抑えてインクで稼ぐのがメーカーの戦略だが、これでは稼げないと思った。

さて、決算への反応はコロナ終息を前提に来期の回復を買う動きだが、低迷したままの分野もあるだろう。

【ご注意】株式市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測の的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被られたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。